

改良複合柵による落葉果樹へのサル対策の強化

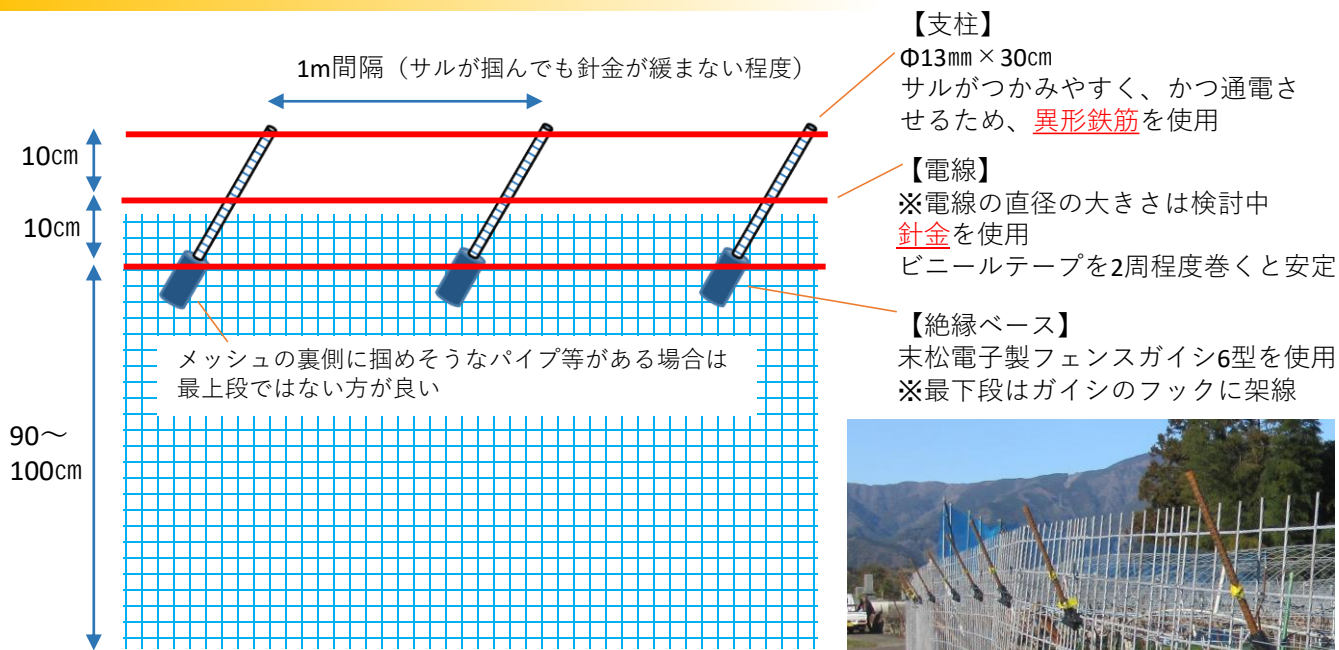
1 改良に向けた経緯

- 2020年に、簡易複合柵（無通電）から園地に侵入するサルの様子が、センサーカメラで撮影されました。
- その映像を詳しく分析すると、サルがそれぞれの時点で、最も安定性の高いパーツを選んでつかんでいる様子が確認されました。



- そこで、最もつかみやすいパーツに通電させ、よりつかみやすい安定性の高い資材を電線の代わりに使用するサル用の改良型複合柵を設置し、侵入防止効果を検証しています。

2 改良複合柵の概要



従来型と改良型複合柵の比較 (2023年調査)

	改良ポイント	経費 (100m当たり)	作業性
従来型	—	141,622円	短時間で設置可能
改良型	サルが掴みやすい資材・ 設置方法に改良	158,974円	電気柵部分が針金のため 設置に時間がかかる